

流山市
市議会議員

あなたと、
一緒に創る

こんどう

近藤みほ

マニフェスト

近藤みほ公式
ホームページ



note
活動を見る





01

妊娠期からの子育て支援

地域みんなで子育て

地域に頼れる方がいないことで孤独な子育てをされる方もいます。

子ども達は、日本の未来を担う大切な存在ですが、親御さんはみんな子育て初心者。そういう時は地域を頼っていいのです。人としての土台をつくる乳幼児期は大変だから、まちぐるみで子どもを育てる「まち」にしていきたいと思います。豊かな子育てが経験できる流山を創っていきましょう。

子どもが行きたくなる 保育園・学童に (保育の質向上)



ながれやま保育品質の確立

児童発達の専門人材の拡充と連携を図り、子どもが育つ環境づくりに貢献していきます。

- ・作業療法士や心理士等、各分野専門員配置への加算
- ・学童と放課後デイサービスとの連携強化
- ・保育所等、訪問支援施設との連携強化

実績

- 以下の政策を推進し、保育の質を上げることに貢献。
- 保護者向けアンケートに保育内容の評価項目を導入
- 支援員に対する自己評価シートの導入促進
- 子どもの個人特性を踏まえた育成支援研修の実施



急増する 児童虐待への対応



児童虐待発生件数に注視し実効性の高い政策を提案していきます。

要保護状態の子ども達によりスピーディに対応するために、電子カルテシステムを導入を推進します。

実績

流山市と野田市の人員体制の違いを調査し、議会に訴えたところ、ケースワーカー2名(うち保健師が1名)、心理士1名の人員増が実現。1名は児童相談所との人員交流が実現し、児童相談所との連携強化が進みました。



地域で育む つながり創り



- ・子育て支援機関同士の連携や関係づくりを促進し、循環型の子育て支援の実現を推進
- ・幼稚園児ご家庭向けの預かり保育を充実

実績

2つの児童センター開設(流山おおたかの森と南流山)
近藤が提案した基本機能が整備方針に入り児童センターが開設。乳幼児と小学生など年の離れたきょうだいを連れていける複合施設、プライバシーが確保された相談室、一時預かりなどが実現。

digest
2つの
児童センターが
できるまで

詳しくはこちら▶

2015年～
子育て中の市民から相談をいただく

一時保育の予約
が取れない

小学生と幼児をいっしょに
連れて行ける子育て支援
施設がない

安心して相談
できる場所がない

相談員の対応が
そっけない

日々、市民の方々からさまざまなご相談をいただきます。その内容をもとに、既存の子育て施設にはない機能が必要と判断しました。

2016年11月
市議会にて一般質問

子どもを遊ばせながら
子どもの成長について相談できる総合
的な施設が必要では？

市議会にて、新しい子育て
支援センターの必要性を
訴えました。

2017年7月
他自治体を視察



理想的な施設がある香川県普通寺市と東京都墨田区を視察。市職員にも視察に行っていたくよう要望しました。

2018年2月
市議会にて一般質問

子ども食堂ができる
キッチンを入れる
こと、中高生
が関われる
機能を。

市議会にて、子どもの育ちをサポートし、地域のソーシャルキャピタルを創るための機能を提案しました。

2019年7月
相談会を開催



施設の基本方針に向けての
パブリックコメント相談会を開催。

2021年 2022年
施設完成



おおたかの森児童センター、南流山児童センターがオープンしました。

地域みんなで
育む子育てが
できる運営に
なっているか、
今後チェック
していきます！





子どもの育ち・学び

子どもが育つまち

変化の時代です。子ども達にはより自分らしく生きられる力を育める教育環境を創りたい。

しかし、その担い手である教師は多忙を極め、なり手不足が深刻です。

私は、教師の働き方改革に多くの提案を行い実現してきました。

今後は推進してきたGIGAスクールを最大限活用すると共に、民間人材に学校へ参画いただくことで、教師の業務負担、そしてそこを起因とする心身の負担を軽減することで、より豊かな教育環境を実現します。

教師の働き方改革を推進し、余裕を生み出す



実績

教師の時間的、心身的な余裕を捻出できるよう環境を整えてきました。



学校に足が向かない子ども達に、多様な学び場を

コロナ禍でメンタル不調の子ども達が増えています。「大丈夫だよ」「楽しいことが沢山あるよ、一緒にやろう」子ども達の様々な心を受け止め、寄り添うことのできる多様な学び場の選択肢が必要です。



GIGAスクールを最大限活かします

コロナ禍で整えてきたGIGAスクール環境を最大限活かし、どこにいても学べる環境を実現します。

地域にも子どもの学びの場を創ります

私は、自ら子どもの居場所を運営することで、子どもの声、そして不安を抱える親御さんの声に耳を傾けてきました。今後は、これらを仕組化し、子ども達がのびのびと育つ【地域の居場所づくり】に繋げていきたい。教育の場を地域に広げ、子ども達の学びの選択肢も増やします。



教師は大忙し...

教師が多忙であることから生じる問題の例

安心して本音が言えない環境

保護者:

学校行事の練習で、心身に過度な負担が発生する場合があります。生徒が疲れたと主張しても取り合ってもらえず、逆に注意されることも。



教師:

がんばって行事を成功させなければならぬ!



生徒:

先生たち大変そうだな。つらいけど、空気を読んで本心は出さないようにしよう...



めざす教育を「より自分らしく生きる」

教育大綱にウェルビーイングの概念を導入します



教師の業務負担を軽減し、より良い教育環境を実現する3つの具体策

① コーチング研修の導入

あらかじめ決められた答えを指導する「ティーチング」より、生徒から答えを引き出す「コーチング」。対話型の授業を実現するため、教育現場にコーチング研修を導入します。

② プロフェッショナル人材の活用

企業等での実務経験を有する人材が学校に参画することで、教育の担い手の多様化を推進します。

③ GIGAスクール最大限活用

コロナ禍で整えてきたGIGAスクール環境を最大限活かし、どこにいても学べる環境を実現します。

ティーチングとコーチングの授業イメージ

ティーチング



板書をし、決まった答えを生徒に教える。



生徒は先生の話聞き、ノートを書くことで忙しい。

画一的
受け身
短時間で伝達
短期的な成果
が出やすい

コーチング



教師は、生徒の考えを引き出す問いかけをする。



子ども同士で対話から学び合う。

対話型の学習
主体的に考える
探究が進む
スキル差が顕著
成果は中長期かけて

柏の葉に設立されたインターナショナルスクール、オンライン学習が可能になったN高、探索と探究・あそびと学びを大切にした軽井沢風越学園など、教育環境の選択肢が増えています。昨年度開校し、注目を集めているおおぐろの森中学校の取り組みなどを論理的に分析し、他の公立の学校運営に反映できるようにします。

現在の教育の課題とウェルビーイングの概念について





03

人づくり・まちづくり

あなたと一緒に成長できるまち

核家族化、価値観の多様化、地域の希薄化により、自助・共助・公助の滑らかな連携が難しくなっています。多様な市民活動を支援する体制強化と、美しい景観を創り・守っていくことが必要です。また持続的な発展のため、環境・農業政策もバランスよく行うことで、未曾有の人口減少時代の中にあっても、活気がある流山市を創り、皆様の大切な資産を守っていきます。

【市民活動支援】

市民や民間の活動が
主導して地域活性化できる
まちづくりを推進します



- ・市民や民間の活動が主導で関われるまちづくりを推進

行政課題を明確にすることで(達成すべき目標が明確)市民や民間が協働しやすくなります。



実績

- NPO活動を推進するため市民活動推進センター機能強化
- コミュニティコーディネーターの育成を推進
- ひなどり基金、おおか基金を創設



【マンション政策の推進】

マンション住民の
地域コミュニティへの参画を通して
共助の仕組みづくりを推進します



- ・マンション防災の推進
- ・マンション地域コミュニティ活動の推進
- ・マンション管理適正化推進計画の策定

流山市ではマンションが急増しています。分譲マンションにおいては、まちの成長の起爆剤でもあります。入居者の人口構造が類似していることから、高齢化が一気に加速することも危惧されています。さらに、建物も老朽化すれば、ついには廃虚化も社会問題となります。マンション住民の地域コミュニティへの参画を通じた共助の仕組みづくりを推進します。



【景観まちづくりの推進】

いつまでも活気がある流山市で
ありつづけることで、
皆様の大切な資産を守ります



- ・地域特性を活かした景観まちづくりの推進
- ・リノベーションまちづくりの推進
- ・道路工作物のデザイン指針の啓発と定着化

実績

- 道路上工作物の景観ガイドラインの策定が実現
- 広告物条例の運用の定着化
- その他、流山本町とTX沿線をつなげる・高めるプロジェクト等を実践



例えばこんな活動

電柱の地中化

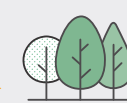
市民の声をもとに議員が動き、成果を生み出しました。



市野谷の森の美しい景観を遮るように電柱が建ったとの相談を受ける。



解決に向け、住民・行政・民間・議員で勉強会を開催し知恵を出し合う。(約2年間)



令和7年度中に電柱撤去・電線地中化が決定。



【環境・農業政策】

次世代につなぐまち創り



- ・都市農業の振興に向けて、地産地消を中心とした経済循環を推進
- ・多様な主体で支える地域の里山づくり・緑化を推進
- ・建築物のエネルギー消費性能の向上を推進

次世代につなぐまちづくりに責任を持つため、今年度は流山市で推進すべき政策を研究を重ねてきました。次期は実質的な成果が上がるよう、動いていきます。



日本は
エネルギー資源がない国。
エネルギーが高騰しているけど
今後はどうなっていくの？





04

行政改革

変化の時代に対応できる行政に

嫌でも競争にさらされる人口減少時代、あれもこれもを実現できる時代は終わりました。福祉需要が高まる中、デジタル化を進めたり、民間とタッグを組んで稼ぐ行政の体質へ変えていく必要があります。さらに市民の知恵と力を活かすまちの実現に向けて、行政職員の人的資本経営を確立するのは必須。スピード感をもって推進していきます。

【人材戦略】

市民の知恵と力を活かす職員を増やす 人的資本経営



市民の知恵を活かし、まちの活力にしていけるためには、答えのない課題を一緒に解決していく知識・経験・行動が求められます。私は民間で携わった人事経験のノウハウを活用し、人材戦略の仕組みづくりに貢献します。

実績

- 地域資源を活かし稼ぐまちづくりを推進する実践知識を得るための研修事業を提案、実現
- 所属会派で目標管理制度(MBO:Management by Objectives)を試行、他の議員の行動や政策を応援し、組織としてのパフォーマンス向上に寄与

政策に対する考え方 ▼



【行政改革】

行政の業務効率化



DXって
どんな
もの？

DX化とは	紙ベース	デジタル化	DX化
市役所	会議資料を紙で印刷、判子決済	紙の情報を手入力でデータベースに保存	電子決済すればデータベースに自動保存
市民	市役所で書類を受け取り、窓口提出	自宅で書類を印刷し記入後、窓口提出	自宅の端末で書類を入力、オンラインで提出



市民の手間を減らし、市職員の業務改善を実現。

- ・市民サービスの向上にも貢献する、DXの推進
- ・行政サービスの効率化にも貢献する、議会改革の推進

実績

- ペーパーレスやデータ活用研修を議会提案、実現
- 業務プロセスの見直しを行うBPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)研修の導入が実現

政策に対する考え方 ▼



【公民連携事業推進】

公民連携事業推進のための仕組みづくり



行政の強み

信用
まちづくりの方向性
住民との利害調整

民間の強み

機動力
多彩なアイデア
デザイン性
稼ぐノウハウ

これまでにない価値

財源が限られている中、行政だけで実現できる事業は限られています。民間事業者のノウハウを最大限活かし、サービスを向上させ、さらに税収が増えるという、効果的な公民連携事業を推進する仕組みづくりを行っていきます。

民間主導で開発された市営住宅の例



開発前



開発後

先進事例:
morinekiプロジェクト

市営住宅の建て替えを民間主導で進めた国内初のプロジェクト。都市公園を含む本事業地区では市の借り上げ住宅以外にテナントとして民間企業のオフィス、店舗を誘致し、住民のみならず、来訪者にとって賑わいの場を創出。

政策に対する考え方 ▼





05

女性・シニア政策

みんな 生き生き

少子高齢社会である日本においては、老若男女、みんなで社会を支える仕組みづくりが求められています。いくつになっても生き生きと楽しく過ごせるまちであるよう、多世代交流を推進します。

また人生100年時代、その人らしく充実して暮らせるよう「生涯学習」の場を増やします。生涯学習には、職業に必要な知識やスキルだけでなく、社会貢献、健康増進などにつながる様々な学びや体験が含まれます。

現場の声を大切にしながら調査・提言をしていきます。

【シニア政策】

多世代交流を推進し、 世代を超えて支え合える 地域コミュニティづくり

認知症の最大のリスクといわれている「孤独」。孤独な高齢者は、そうでない人と比べて、認知症の発症率が約2倍も高いという調査結果も出ています。また、孤独な子育てを強いられる家庭環境の増加も社会問題となっています。世代を超えて、身体的・精神的・社会的に支え合えるコミュニティづくりを推進します。

- ・データに基づく生きがい創り改革を行い、孤独化防止を推進
- ・自動車運転免許返納後の支援サービス拡充

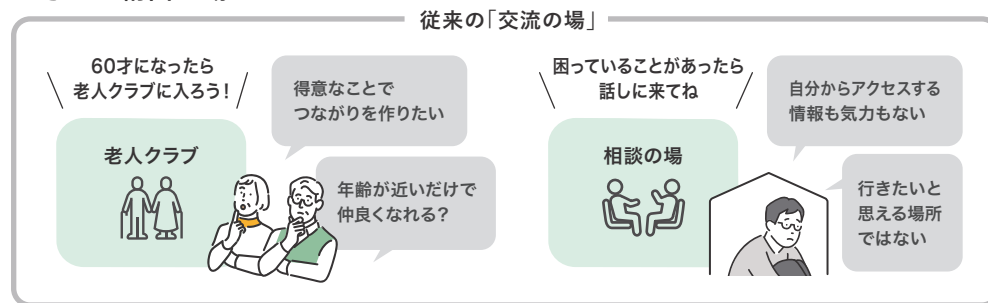
実績

高齢者ふれあいの家の多世代交流による孤独の解消、高齢者の生きがいづくりの効果検証について提案しました。令和6年度からの高齢者支援計画でこの効果を測るため、実態調査を実現することになりました。

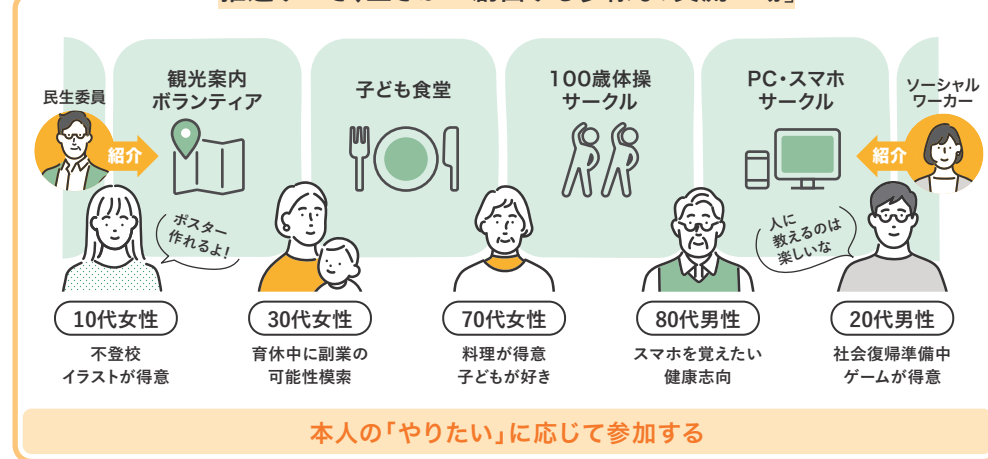


女性に対する暴力に対して感度を高くし、また効果的なエンパワーメント策を実施していくため、女性管理職比率の向上を推進します。子育てや家庭における課題を身近に感じる感性を持った職員が必要であるため、男性の育児休暇取得を推進します。

生きがい創出の場とは？



推進すべき、生きがい創出する多様な「交流の場」



【女性政策①】

市職員の 女性管理職比率の向上、 男性の育児休暇取得を推進

【女性政策②】

男女間における暴力に ついての現状を調査 予防・啓発事業を強化します



流山市における実態調査を行うよう働きかけます。その分析を基に、安心安全で自分らしく暮らせるための相談窓口、啓発事業を強化します

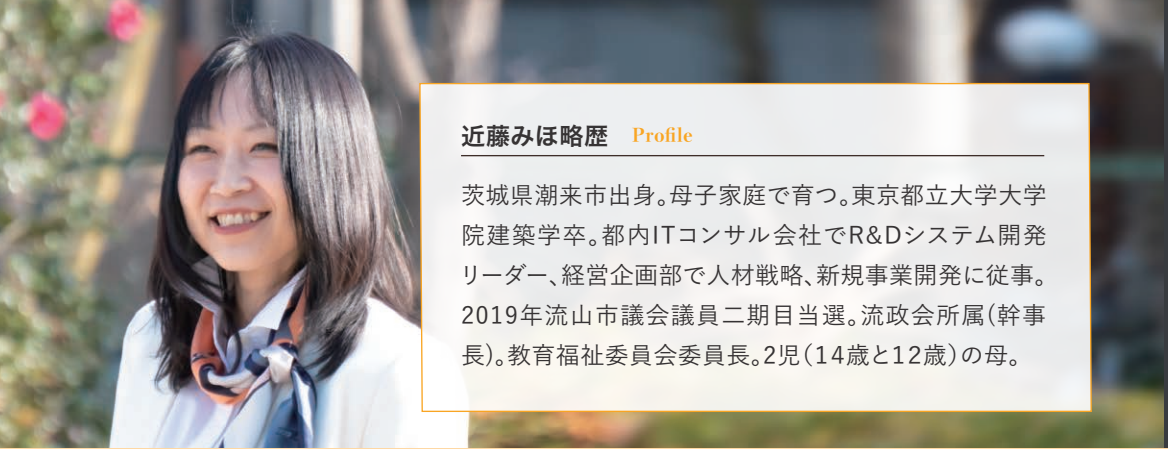
【女性政策③】

女性の創業支援を 推進し、経済力をつける



流山市は女性の創業スクールを長年実施してきましたが、これをしっかり稼働できるようサポートします。生活も大切にしながら、自分らしい生業を創っていけるよう側面支援します。





近藤みほ略歴 Profile

茨城県潮来市出身。母子家庭で育つ。東京都立大学大学院建築学卒。都内ITコンサル会社でR&Dシステム開発リーダー、経営企画部で人材戦略、新規事業開発に従事。2019年流山市議会議員二期目当選。流政会所属(幹事長)。教育福祉委員会委員長。2児(14歳と12歳)の母。



近藤みほに力をお貸ください

近藤みほの活動を手伝ってくださるボランティアを募集しています。
ご協力いただける方は左記QRコードよりご連絡ください。

- チラシ配り
- ポスター貼り
- 活動中の写真撮影
- リーフレット折り込み作業 等

近藤みほを呼ぶ

2、3人からの集まりに出張します。皆様との対話から市に提案すべきことを考えていきます。



近藤みほを応援する

政治活動や広報、支援グループ「近藤みほサポーターズ」の活動資金として大切にに使わせていただきます。

郵便局

記号 10500
番号 20396301
口座名 近藤みほ
サポーターズ

銀行振込

銀行名 ゆうちょ銀行
店番号 058
口座 普通2039630
口座名 近藤みほサポーターズ

※年間5万円を超えるご寄付は、収支報告書に氏名が記載されます。

事務所看板について

近藤みほのメイン政策のひとつである景観政策(広告物規制と緑化)。事務所も景観重点区域にあることから、看板の代わりにロスフラワーでその存在をお知らせしています。景観への配慮とアピールのバランス。これも近藤みほのチャレンジです。



ご相談・お問い合わせはメール・HPから
✉ info@mihokondoh.net

